

グループ討議 課題

テーマ: 大学の特色をいかしたリポジトリ

グループ名 [ 2G ]

---

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会



# ■リポジトリを取り巻くたくさんの課題

---



- なかなか浸透しない・・・
- マニュアルが整備されていない・・・
- 前任者の業務の踏襲・・・
  - リポジトリの全体像が見えない
- 担当がどんどん変わる・・・
- 先生にコンテンツを出してもらえない・・・

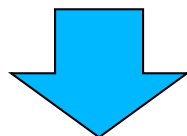
悩みは尽きない！！

# ■ 私たちは何を目指せばいいのか？



現在

リポジトリ = 研究成果の蓄積



今後

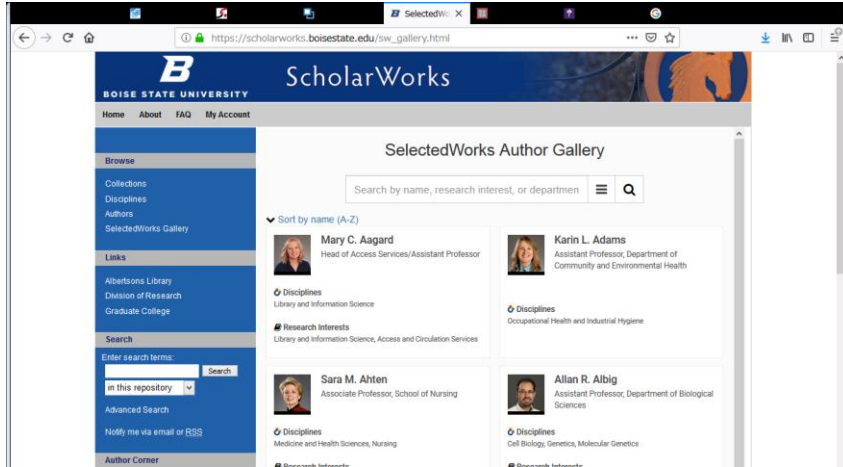
リポジトリ = 大学の特色のPR

## 【課題】

教職員の研究成果をせっかく発信していくのだから、見せ方を工夫することで同時に自学の研究の特色を広報できるような仕掛けをリポジトリに持たせることはできないか？

## 解決策その①

# ■ インデックスの作り方・見せ方



←Boise State University

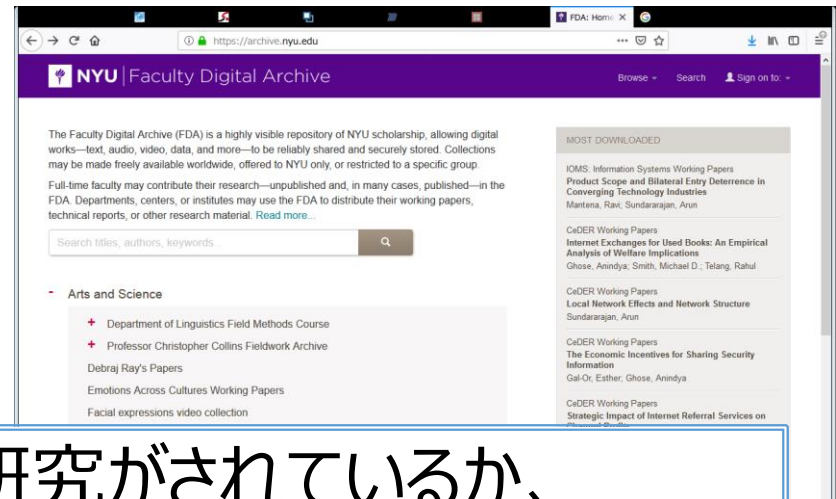
[https://scholarworks.boisestate.edu/sw\\_gallery.html](https://scholarworks.boisestate.edu/sw_gallery.html)

教員毎のページが写真、専門、各研究成果に書影付きなど、ちょっとしたウェブページのようになっている。

New York University→

<https://archive.nyu.edu/>

よく利用されている（ダウンロード件数が多い）論文がトップページに一覧で表示されている。



大学でどんな研究がされているか、  
何が注目されているか、わかる見せ方

# ■「時の人」の論文を掲載する



ノーベル賞等、話題になった論文を公開する

- 当該論文の掲載、特集ページの作成（著者インタビューや業績へのリンク）  
例）北大HUSCAP
- 当該論文の関連論文のリンク集  
例）京大KURENAI
- 著者の研究成果へのリンク集



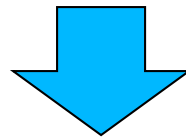
大学の「重大ニュース」にリポジトリも便乗！  
(タイミングが大事)

# ■「ならでは」感のあるリポジトリ、 を目指す！



## 「XX大学ならでは」

- ✓ 自学ならではの工夫のあるリポジトリ
- ✓ 他と似ている、でも“ちょっと違う”
- ✓ 切り口は同じじゃなくてもいい



リポジトリに登録したいと思ってもらえる  
コンテンツ登録依頼が減らない（増える？）